



こども探検隊

大人はヘロヘロ・・・

暑さに負けず！

7月29日（土）、常呂川FCとの共催により小学生17名、スタッフ13名の参加で「オホーツクの森こども探検隊」を行いました。



天候に恵まれ過ぎ、最高気温34.6℃のうだるような暑さの中、こどもたちは4班に分かれてカモフラージュ、森林探検などのミッションにチャレンジしました。

また、森林探検前後の時間には、会員の皆さん手作り（第4回森いく）のターザンロープ、綱渡り、ハンモックなどを楽しみました。

午後からの工作は、発電機故障のため、森の家から事務所会議室へ会場を移動、というトラブルもありましたが、渋谷さんの好リードにより無事（？）に終えることができました。



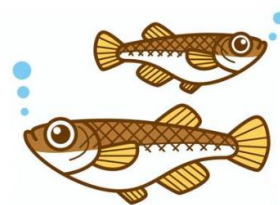
なお、とっても暑い中お手伝いいただいた会員は次のとおりです。

ありがとうございました。
【吉田、小島、渋谷、植村、小山、小林、大戸、松浦（新会員）】

<近藤>

外遊びプロジェクトでのひらを支援

一番人気はサカナ！



こども探検隊翌日の30日（日）、常呂川FCの協力要請を受けて、外遊びプロジェクト『てのひら』（以下てのひら）の活動を支援しました。

てのひらは、「幼児～小学校低学年を対象にした自然体験活動」を年4回程度取り組んでいる団体で、『オホーツクの森（森の家周辺）で外遊びイベントを開催したい。危険防止の見守り及び遊具（こども探検隊で使用したもの）の使用に協力をお願いしたい。』との要請を受けたものです。



ターザンロープや綱渡りなども楽しんでいましたが、何よりも人気だったのはサカナ、5cmほどのヤマベ稚魚を網で追いかけて回していました。（5匹ほどゲット、帰宅前に放流）



前日ほどではないものの「30℃」、暑さが堪えます。（川沿いが主なので多少は楽でしたが・・・）

帰り際にいただいたスイカがおいしかった・・・です。

なお、協力参加は、小島、植村、小林、近藤、吉田の5名です。

<吉田>

なるほどクイズ

（答えは会報のどこかに…）

ツル性植物はその種類によって、巻き付き型、カギ型、巻きひげ型、吸着型など、登り方が変わりますが、ツタのツルはどのようにして張り付いているのでしょうか？

北見工大の塀に注目！



サロマ湖を一望のはずが・・・

山歩き隊

晴天の8月11日（祝・山の日）、朝から陽差しが強く、北見市の予想最高気温は32℃、「暑いね～！浜に行ったら少しは涼しいかな？」などの会話を交わしながら幌岩山へ向かう参加者11名。

登山口（浪速側）につくと、同じオホーツクとは思えない気温（体感では20℃くらい）プラス霧雨模様、「天気予報は曇りのち晴れ、頂上に着く頃には晴れるはず、登山には涼しくて最適」と出発。



登りはじめて間もなく、倒木の上に並ぶ黄色いキノコ（タモギタケ）を発見、「袋、袋、袋な～い？」とみんなでキノコ採り、「虫が入りやすいキノコなので2～3時間水に浸け（浸けすぎるダシが抜けるので注意）、味噌汁や油炒め」などのミニ料理教室も・・・。

およそ2時間で展望台に到着、目の前にはサロマ湖の展望が広がる…はずだったのですが、見渡す限り真っ白、霧の中。

白く輝くクモの巣に「キレイ！これは晴れの日には見れないよね。」などの会話（決して悔し紛れではありません）をしながら下山、無事に「道の駅サロマ湖」へ到着。



展望台を見上げると、霧は晴れ上がり、誰かから「もう1回登る？」の声が・・・。

「天気には勝てん！」そんな思いを胸に帰路につくと、徐々に広がる青空、車から降りると「アチィ～！」。

「山歩き隊」の初行動「幌岩山」は『避暑と思えば…納得』の一日でした。

【参加者の氏名は省略します】

<近藤>

藻琴山で勉強会

悔るべからず…

山の天気は難しい！

常呂川 FC から藻琴山散策会のガイド補助の要請を受け、断る訳にもいかず・・・8月19日（土）、藻琴山散策の下見を行いました。

各々の知識をフル動員して「トゲがないからタニソバ？」「茎が4稜なのでシソ科かな…」と図鑑を片手に「アレは？コレは？」と亜高山の植物を観察・勉強しました。

天気予報では、北見は晴れ（予想最高気温 31℃）、弟子屈町は曇り（予想最高気温 27℃）でしたが、頂上付近は霧プラス強風で寒ッ。

少し下がると汗ばむ気温、「山の天気は難しい」を実感、夏山・低山といえどもそれなりの装備は必要です。

参加したのは小島、小山、小林、近藤、吉田の5名で、その成果は本番のお楽しみだったのですが・・・。

<吉田>

【なるほどクイズ】 答え

北見工大の塀にはツタがビッシリ、これを観察すると答えが見えてきます。（知らんけど！）



ツタは、葉の反対側に枝分かれして出るまきひげの先端にある吸盤で石や木に張り付いています。

吸盤の吸着力は吸引によるものではなく、なんらかの粘着性の物質を出して張り付いているそうです。（その物質の分析はされていませんが、キツタの根から分泌される物質は19種類の有機化合物を含んでいます。）

なお、ツタの吸着根には水分や養分を吸収する働きはなく、茎を固定する役割だけのようです。

第4回森いく

熟練の技？です

第4回森いくは、7月11日（火）に行われ、こども探検隊に向けた準備をしました。

まずは、走ったり、転んだりしてもケガしないよう笹等をきれいに刈り払ってから遊具設置に取りかかります。

まずは「クモの巣」、ロープを立木を利用して縦横に間隔・高さを調整しながら張り巡らせます。（今年はほぼ全員が簡単にクリア、次年度は難易度アップが必要?）

ターザンロープ、ハンモックは、例年の通り設置ですが、遊んでいる時にロープが外れたり、緩んだりしないようロープワークを駆使、往年の技術と経験が光ります。

また、「綱渡り」は少しスリルを味わえるように川を越えるように設置、「落ちないかな?」「濡れるのも楽しいはず・・・」などと話しながら作業を進めました。



午後からは、クラフト（ミニジオラマ）作成の実技、渋谷さんを講師に、小学生に指導することをイメージしながら作成、「手順が逆のほうが良い」「両面テープは短く」などの意見交換、クラフト作成も受け入れ準備OKです。

こどもたちの喜ぶ顔を想像しながらの作業はそこそこに楽しいかな。
なお参加者は次の通りです。【吉田、渋谷、小山、長谷川、小林、植村、小島】

<小島>

**藻琴山散策会は熱中症警戒アラート
発出を受けて中止となりました。**



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、できるだけ **メール** h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川 FC 宛) をお願いします。

<イベント名、氏名(カナ)、住所、郵便番号、生年月日、連絡先> (様式は任意)



(アドレス表示)

○第2回森林づくり塾 (主催: 常呂川 FC)

日 時 2023年9月24日(日)
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9:00 (受付 8:30~)
場 所 オホーツクの森他
内 容 森林保育(補植)作業、森林散策他
持ち物 作業および森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費 200円(保険料等)
申込み 9月12日(火)まで
先着20名とします

★内容変更となる場合があります

○秋の森林散策会

日 時 2023年10月14日(土)
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 8:15 (受付 8:00~)
場 所 阿寒湖畔遊歩道(滝口線: 約4.0km)
内 容 森林散策・自然観察を通じて、森林の果たす役割を学び、森林の魅力を感じましょう。
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費 200円(保険料等)、一般参加者は1000円
申込み 10月3日(火)まで
先着40名とします

★散策会の下見を兼ねた「自然に学び隊」活動(10月3日予定)を行いますので希望者は事務局まで連絡願います。

詳細は、参加希望者に連絡します。

申込み 9月26日まで

○第6回森いく活動

日 時 2023年10月10日（火） 9：30～
場 所 森の家集合
内 容 古の森遊歩道の整備、「ふれあいの森」活動他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み 10月3日（火）まで

「森いく活動」は5～10月の第2火曜日および必要に応じて実施します。

○炭づくり隊&色々食べ隊

日 時 2023年10月28日（土） 9：30～
場 所 オホーツクの森「森の家」
内 容 飾り炭づくり、焼き物食事会
持ち物 飾り炭材料、作品持ち帰り用の入れ物、昼食、飲み物、マスク等
参加費 500円（保険料、食材費等）
持ち込み・差し入れ大歓迎、アルコール禁止
申込み 10月17日（火）まで、
定員（20名）を上回った場合は抽選とします

全道的にササの花が咲き、ササ枯れが広がっているという。

北見周辺でも、ササ枯れが見られ、特に仁頃山はほぼ全枯れ状態である。

ササの一斉開花は60年に一度とか120年に一度とかいわれる稀な現象らしい。

このことが森林に与える影響は・・・

まずは、ササの実は栄養豊富で、食糧に恵まれたネズミが大量発生、樹皮を食べることによる林業被害が心配される。

次に、樹木の芽生えを阻害しているササが消えることで稚幼樹の発生が期待でき、ササ地から森林へ変わることも想定される。

いずれにせよ、生きているうちに二度と遭遇できないであろうと思われる自然現象・・・しっかり見届けたいものである。

木々に関するつぶやき

【サルナシ】（コクワ）

雌雄異株または雌雄雑居性（同一株に両生花、雌花、雄花をつける雑居のものもある）のマタタビ科のつる性木本。

蔓は太さ径 5cm、長さ 50m になるものもあり、丈夫で腐りにくいことから吊り橋や筏作りに使われた。

果実の形が梨に似て、猿が好んで食べることから猿梨（サルナシ）、完熟した実は甘く、果実酒、ジャム、生食などに利用される。



会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



— 納入方法 —

- ・ 会が主催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の口座（ゆうちょ銀行）に振り込む（手数料がかかります）

ゆうちょ銀行（郵便局）から振り込む場合

【記号 19960 番号 08073231】

他の金融機関から振り込む場合

【店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 メール h_tokoro_f@maff.go.jp